

(ちば経済トレンド)

県内の各観光協会では、震災の影響による観光客の落ち込みを挽回すべく、さまざまな事業を展開

2011年の千葉県内の観光業界では、地震や津波などの恐怖心や原発問題による放射能汚染の風評被害等の影響で観光客数が大幅に減少した。11年4～12月の千葉県のべ宿泊客数は11,829千人と、10年4～12月の14,723千人と比べて19.7%減少した(出所:観光庁「宿泊旅行統計調査」)ほか、昨夏の海水浴客数も1,147千人と10年夏(2,304千人)に比べ50.2%と半減した(出所:千葉県)。

これに対応するため、千葉県の各観光協会では2012年度の事業計画を通してさまざまな取り組みを始めている。千葉県観光物産協会では、2012年度事業計画を策定し、11年度に引き続き県と連携して、「がんばろう!千葉」観光キャンペーンを展開し、観光客数の回復に努める方針で、10月21日には高速道路として、また海上コースとしても全国初の試みとなるアクアラインマラソンの開催にあわせて、観光プロモーション事業を実施する予定。

また、県内の各観光協会でも、それぞれの地域に応じた取り組みを始めている。

都市部では「婚活」をテーマとしたイベントの開催による地域活性化を目指そうとする動きが見られる。千葉市観光協会では、7月8日に営業運転を開始する新型モノレール車輛「アーバンフライヤー」を借り切り、婚活ツアー「ちば恋フェスタ2012」を開催する。イベントがきっかけで誕生したカップルには、今後同市に定住してもらうための試みを始める予定(7月29日)。浦安市でも、浦安観光コンベンション協会が市とともに昨年好評だった婚活イベント「婚活in浦安リゾート」を昨年に続き開催予定。

一方、九十九里・南房総地域など観光産業が盛んな地域では、震災の影響により減少した観光客数を回復させたいとして、地震や津波への防災対策を整備して、安心・安全をPRしたり、特産品のキャンペーンを実施する先がみられる。また、修学旅行客などの団体客を積極的に誘致してきた南房総市観光協会では、地元住民だけでなく、土地勘のない観光客にもわかりやすいハザードマップを海水浴場近くに設置したり、同協会のHPで南房総市の安全性についてPRに努めている。海水浴客数が大幅に減少した山武市では、同市観光協会が今夏の海水浴客誘致のため、新たな施策として、同市内に宿泊した海水浴客などを対象に抽選券を配布し、当選者には当地の特産品であるブルーベリーやなしなどをプレゼントする予定。

観光協会が事業を行う目的は、交流人口の増加等を通して、まちを元気にすることであるが、「今年は、震災の影響で大きく落ち込んだ観光客数を元に戻すための正念場の年」(各観光協会)と位置付けている先が多いことから、各協会の事業への取り組みの成果をよくフォローしていきたい。(森)

県内の各観光協会の12年度事業計画の主な施策

地域/主な活動体	主なイベント等観光客誘致策
千葉県 (千葉県観光物産協会)	・11年度に引き続き、「がんばろう!千葉」観光キャンペーンを展開し、観光客数の回復に努める。 ・12年度の目玉の実施事業としては、アクアラインマラソン観光プロモーション事業などを挙げている。
千葉市 (千葉市観光協会)	・昨年は震災の影響で中止した花火大会を千葉ポートパークから幕張海浜公園へ場所を変更して開催する(8/4)。また、花火の打ち上げ総数を8千発から1万2千発に増やす。 ・「婚活ツアー」を企画し、千葉で出会ったカップルに、結婚して千葉市に定住してもらう。今年は、「ちば恋フェスタ2012」を7/29に開催し、7/8に営業運転を開始するモノレールの新型車輛「アーバンフライヤー」を借り切る企画も実施予定。
浦安市 (浦安観光コンベンション協会)	・浦安市などと共同で、昨年好評を博した婚活企画「婚活in浦安リゾート」を今年も開催する予定。 ・教育旅行客誘致策として、ヘリコプターに乗って空から浦安市や東京都を見学したり、海でクルージングや生物観察ができるほか、漁村時代からの浦安市の歴史を学んでもらい、TDR以外の浦安市の魅力伝えることを目的とする。 ・各種会議や報奨・研修旅行等の誘致を積極的に行なう。
山武市 (山武市観光協会)	・例年実施している成東駅から海水浴場までの臨時バスの運行を今夏も実施する。また、今年は新たに同市内に宿泊した海水浴客などに抽選券を配布し、ブルーベリーやなしなどの当市特産品が当たる抽選会を実施する。
南房総市 (南房総市観光協会)	・土地勘のない観光客にもわかりやすいハザードマップを海水浴場周辺に掲載し、安全性をPRして修学旅行客などの団体客を中心に観光客の誘致活動を行っている。

(出所)各所HPやヒアリングによりちばぎん総合研究所が作成